

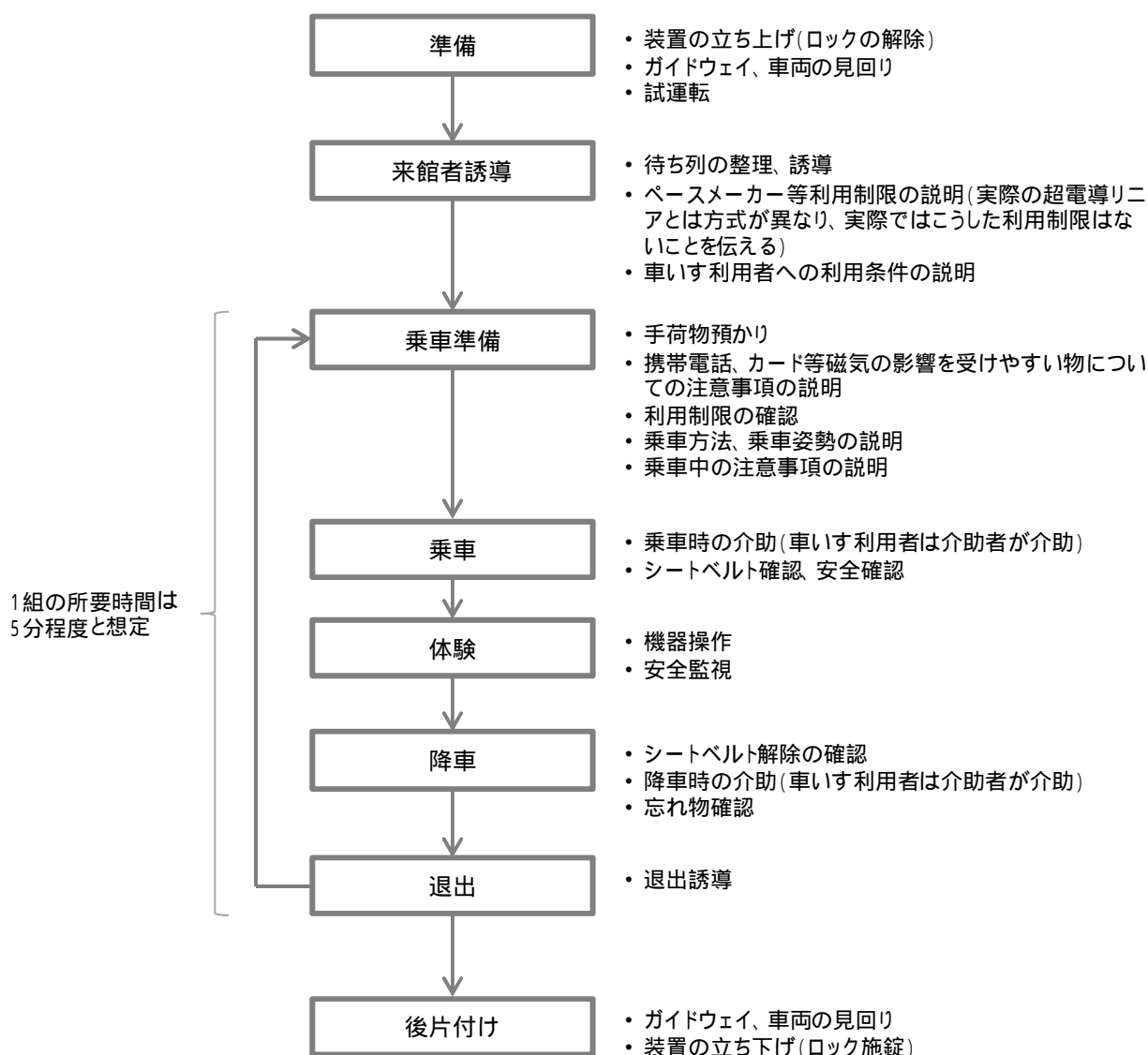
展示コーナー別運営業務

1 各コーナーにおける運営業務

フロア	コーナー	運営業務
1 階	受付	<ul style="list-style-type: none"> 受付・総合案内 ・来客受付、取り次ぎ ・館内案内、周辺地域観光案内、交通案内 ・問い合わせ対応 ・パンフレット配布 チケット販売 ・チケット販売、現金収受 ・領収書発行 ・減免内容等の案内 ・チケットベンダーの管理、用紙補充等 来館者属性調査 ・アンケート配付、記入依頼 入館制限等 ・入館制限(泥酔者等) ・持ち込み禁止(ペット、傘等) 再入場者管理 ・チケット日付確認 その他 ・車いす貸し出し ・手荷物(ロッカーに入らないもの)の一時預かり
	実験車両・大型映像	<ul style="list-style-type: none"> ・実験車両の内部巡回 ・待ち列の整理、車両の出入りの誘導 ・展示案内、質問対応 ・車イス誘導(車両内に入れる幅の車イスを準備しておく。来館者は乗り換えて車両内を見学し終了後返却する)
	リニア開発の歴史	・展示案内、質問対応
	キッズコーナー	・巡回、遊具等の整頓、応急清掃
	授乳室・こどもトイレ	・巡回、応急清掃
	走行試験情報モニター	・質問対応
	ミニリニア体験乗車	(後述)
2 階	超電導リニアの仕組み	・展示案内、操作案内、質問対応
	超電導リニアの仕組み映像	・展示案内、質問対応
	リニアでGO	・展示案内、操作案内
	超電導コースター実験	(後述)
	超電導コイル実験	(後述)
	ワークショップ	(後述)
	走行試験情報モニター	・質問対応
	屋外見学テラス	スタッフの管理課のもとで運用する
3 階	リニアジオラマ	<ul style="list-style-type: none"> 【プログラムはタイマースタート】 ・待ち列の整理、誘導 ・注意事項のアナウンス(写真撮影、手すりに乗り出す、展示品に触れる等) ・展示案内、質問対応
	シアター	<ul style="list-style-type: none"> 【プログラムはタイマースタート】 ・待ち列の整理、誘導 ・注意事項のアナウンス(写真撮影、携帯電話等) ・展示案内、質問対応
	山梨断面リニア模型	・展示案内、操作案内、質問対応
	見学ラウンジ	・巡回、応急清掃
	走行試験情報モニター	・質問対応

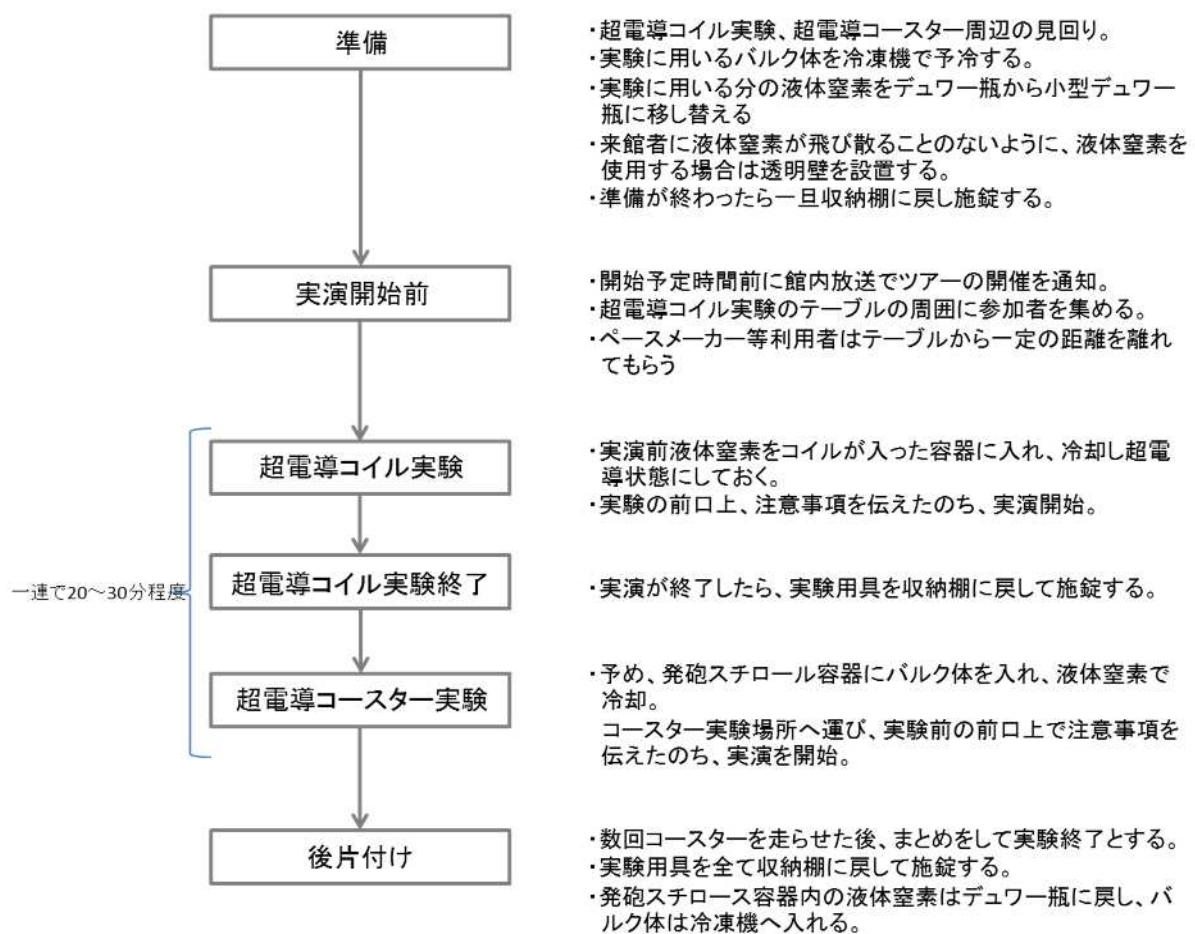
2 ミニニア乗車体験の運用

- 必ず、スタッフの管理の下で運用する。
- 車いす利用者については、本人と介助者で安全に乗り降りが可能な場合のみ体験可とする。
- ペースメーカー等を利用している方の体験は不可とする。
- 1回の乗車は1.5人(大人1名、こども1名)を上限とする。
- 合計体重の制限は100kgとする。
- 乗車中はシートベルトを義務付ける。
- 携帯電話、カード等磁気の影響を受けやすい物については、手荷物に入れて預けることを推奨するが、持って乗る場合は車体の床・壁からできるだけ離すようにアドバイスする。
- スタッフは適宜、展示物の解説を行い、来館者からの質問に答える。
- 立ち入り禁止エリア内に来館者が入ろうとした場合は注意する。



3 超電導コイル実験、超電導コースター実験の運用

- 必ず、スタッフの管理の下で運用する。
- スタッフの実演によるレクチャー形式とする。
- 超電導コイル実験・超電導コースター実験の2つを一連のプログラムもしくはそれぞれを適宜実施する。
- プログラムは開催時間を決めて実施するものとし、その時間は事前にアナウンスしておく。
- 上記とは別に予約団体を対象としたプログラムも実施する。
- 液体窒素、ネオジウム磁石を利用するプログラムであるため、実演に習熟し、適正な管理と利用を行う。
- 実演に用いる器具類は、使用時以外は施錠できる棚に収納しておき、使用時も来館者が勝手に触れることのないよう十分に配慮する。



4 ワークショップの運用

- 電気磁気工作などのワークショップ、各種イベント、学校利用の際の昼食場所など多目的に活用する。
- 原則として、スタッフの管理の下で運用する。
- 電気磁気工作などのワークショップでの活用を例に運営フローを整理する。
- ワークショップは開催時間を決めて実施するものとし、その時間は事前にアナウンスしておく。
- 上記とは別に予約団体を対象としたプログラムも実施する。

